

登録番号 第 16758 号

トレボン®乳剤

●水稲、野菜、樹木類など幅広い作物で使用できます。
特長： ●チョウ目幼虫、コナジラミ、アブラムシなどのカメムシ目、、コウチュウ目など、様々な害虫に効果があります。

トレボンは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。

有効成分	エトフェンプロックス（化管法第1種）・・・20.0%	包装	100ml×60 500ml×20
その他化管法 該当成分	キシレン（化管法第1種）・・・33% エチルベンゼン（化管法第1種）・・・45%		
性状	淡黄色澄明可乳化油状液体	有効年限	5 年
毒性	普通物*	危険物	第4 類第2 石油類 非水溶性液体

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用害虫及び使用方法】

2024 年 4 月 24 日付内容

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数
稲	－	コブノメガ	1000 倍	60～150 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
		ツマグロヨコバイ ウカ類 イネトヨイムシ イナゴ類	1000～ 2000 倍					
		カメシ類 イネミズゾウムシ	2000 倍					
		ウカ類	300～ 600 倍	25L/10a				
		ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネトヨイムシ	300 倍					
		カメシ類	600 倍					
麦類	－	ヒメトビウカ アブラムシ類	2000 倍	60～150 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
きび	－	アカシガシカメ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
あわ	－	アヲヨトリ アヲノメガ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
とうき	－	キアゲハ	1000 倍	100～300 L/10a	幼虫発生期	6 回 以内	散布	6 回 以内
とうもろ こし	－	アヲノメガ アヲヨトリ ツマジロクサヨトリ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	4 回 以内	散布	4 回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数
飼料用とうもろこし(子実)	－	アワノメイガ アヲヨトウ ツマジロクサヨトウ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	4 回 以内	散布	4 回以内
かんきつ	－	コアハナムクリ ゲンキスイ類	1000 倍	200～700 L/10a	収穫前日ま で	3 回 以内	散布	3 回以内
		ミカンホメクリガ	1000～ 2000 倍					
		チャノキイロアザミウマ	2000 倍					
マンゴー	－	チャノキイロアザミウマ	1000 倍	200～700 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
ブロッコリー	－	アオムシ	1000～ 2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
キャベツ	－	アオムシ コガ ヨウムシ アブラムシ類	1000～ 2000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
はくさい	－	アオムシ コガ ヨウムシ アブラムシ類	1000～ 2000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
だいこん	－	アオムシ コガ ヨウムシ アブラムシ類	1000～ 2000 倍	100～300 L/10a	収穫 21 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
ねぎ	－	シロイモシヨトウ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 21 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
レタス	－	アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
すいか	－	アブラムシ類 コジラミ類 ハスモンヨトウ ヨウムシ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
きゅうり	－	アブラムシ類 コジラミ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
メロン	－	アブラムシ類 コジラミ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前 まで	4 回 以内	散布	4 回以内
かぼちゃ	－	コジラミ類 ウリハムシ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
にがうり	－	アブラムシ類 コジラミ類 ヨウムシ類 カミシ類 ウリメイガ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数
なす	－	アブラムシ類	1000～2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
		コジラミ類	1000 倍					
トマト	－	コジラミ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
ピーマン	－	アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
okra	－	アブラムシ類 かみし類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
さやえんどう	－	シイモシヨウ ヨウムシ ウナジジミ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
実えんどう	－	シイモシヨウ ヨウムシ ウナジジミ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
さやいんげん	－	ワタアブラムシ ウナジジミ マノメカガ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
えだまめ	－	マシクカガ シイモシマダラメカガ ダイズサタバエ かみし類 フタズビヒメムシ ウコンメカガ ツメクサガ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
		ハスモンヨウ	1000～2000 倍					
うど	－	アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	根株養成期 但し、収穫 45 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
モロヘイ	－	アザミヤカ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前まで	1 回	散布	1 回
未成熟さげ	－	アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
かんしょ	－	カシロシタバ アブラムシ類 ハスモンヨウ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
ばれいしょ	－	アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
さといも	－	ハスモンヨウ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
さといも (葉柄)	－	ハスモンヨウ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数
やまのいも	－	アブラムシ類 ヤノヒコガ ハスモンヨトウ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
やまのいも (むかご)	－	アブラムシ類 ヤノヒコガ ハスモンヨトウ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
豆類 (種実、た だし、だい ず、あずき を除く)	－	マメシクイガ アブラムシ類 シロイモシマダラメカ ダイズサタマバエ カメシ類 フタズビヒメムシ ハスモンヨトウ ウナミジミ アズキノメカ アズキノメカ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
だいず	－	マメシクイガ アブラムシ類 シロイモシマダラメカ ダイズサタマバエ カメシ類 フタズビヒメムシ ハスモンヨトウ ウナミジミ アズキノメカ ウコノメカ ツメクサガ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
あずき	－	マメシクイガ アブラムシ類 シロイモシマダラメカ ダイズサタマバエ カメシ類 フタズビヒメムシ ハスモンヨトウ ウナミジミ ノメカ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
てんさい	－	ヨウムシ	1000～ 2000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
せんきゅう	－	ウリハシモトギ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
しょうが	－	ハスモンヨトウ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
食用ぎく	－	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
せり	水田	アブラムシ類	1000 倍	100～150 L/10a	収穫 30 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	エトフェンプロックスを 含む農薬の総使用回数
せり (水耕栽培 培)	ガラス室等 の施設	アブラムシ類	1000 倍	100～150 L/10a	収穫 30 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
みずいも	水田	オキナワコトモキ	1000 倍	100～150 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
じゅんさい	じゅんさい田	マダラミズメカ ジュンサイハムシ	1000 倍	100～150 L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内
あしたば	－	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
ふき	－	コジラミ類 キノメカ ヨウムシ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
葉しょう が	－	ハスモンヨトウ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
みつば	－	アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 21 日前 まで 但し、 伏せ込み栽培は伏せ込 み前まで	2 回 以内	散布	2 回以内
ほうきぎ	－	オキナワツツミカ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 30 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
おうぎ	－	ウリハムシトモキ	1000 倍	100～300 L/10	収穫 45 日前 まで	4 回以内 (1 年間に 2 回以内)	散布	4 回以内 (1 年間に 2 回以内)
茶	－	チャノホカ チャノミドリヒメコバイ チャノキイロアザミウマ	2000 倍	200～400 L/10a	摘採 21 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
たばこ	－	タバコガ ヨウムシ	2000 倍	25～180 L/10a	収穫 10 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
		アブラムシ類 タバコノミハムシ	1000～ 2000 倍					
採種用と うき	－	キアゲハ	1000 倍	100～300 L/10a	幼虫発生期	12 回以内 (1 年間に 6 回以内)	散布	12 回以内 (1 年間に 6 回以内)
樹木類(つ つじ類、ポ インセフ、サツ を除く)	－	クムシ類 シクトリムシ類	4000 倍	100～700 L/10a	幼虫発生期	6 回 以内	散布	6 回以内
		オビカハ	2000 倍					
つつじ類	－	クムシ類 シクトリムシ類	4000 倍	100～700 L/10a	幼虫発生期	6 回 以内	散布	6 回以内
		オビカハ	2000 倍		－			
		ツツジゲンバイ						

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	エトフェンプロックスを 含む農薬の総使用回数
ポインセチア	－	クムシ類 シクトリッド類	4000 倍	100～700 L/10a	幼虫発生期	6 回 以内	散布	6 回以内
		オビカハ	2000 倍		－			
		コナジラミ類	1000 倍					
ソテツ	－	クムシ類 シクトリッド類	4000 倍	100～700 L/10a	幼虫発生期	6 回 以内	散布	6 回以内
		オビカハ	2000 倍					
		クマタガラソテツジミ	2000～ 4000 倍					
宿根かすみそう	－	シロイモジヨトウ	1000 倍	100～300 L/10a	－	6 回 以内	散布	6 回以内
		ヨウムシ	2000 倍					
りんどう	－	ヒラスハナアザミウマ	2000 倍	100～300 L/10a	－	6 回 以内	散布	6 回以内
きく	－	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10a	発生初期	6 回 以内	散布	6 回以内
カーネーション	－	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10a	発生初期	6 回 以内	散布	6 回以内
ゆり	－	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10a	－	6 回 以内	散布	6 回以内
トルコギキョウ	－	ハスモンヨトウ	1000 倍	100～300 L/10a	－	6 回 以内	散布	6 回以内
水田作物、 畑作物(休 耕田)	ヨシ、ササ、ス ササ、セイタカ ワダチソウ等の 多年生雑草が優 占している休耕田	カメシロ類	2000 倍	60～150 L/10a	－	3 回 以内	散布	3 回以内

使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- (3) 散布器具、作業衣等は桑用と必ず区別すること。
- (4) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - 1) ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - 2) 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (5) 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類がふえることがあるので注意すること。
- (6) ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布すること。
- (7) きくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のワタアブラムシでは効果が劣ることがあるので使用をさけること。
- (8) 採種用とうきに使用する場合は、根部及び葉を収穫せず、種子の収穫に限ること。
- (9) 水耕栽培に使用する場合、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理すること。

- (10) 本剤を本田の水稻に対して希釈倍数 300～600 倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- (11) 本剤は自動車等の塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意すること。
- (12) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法-----

- (1) 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4) 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
- (5) 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをすること。
- (6) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----

- (1) 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池等周辺での使用はさけること。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こすおそれがあるので、十分注意すること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意すること。

貯蔵上の注意事項-----

火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管すること。